

【氏名】南 孝典(ミナミ タカハル)  
【職名】准教授、キャリアセンター長  
【学位】修士(教育学、社会学)  
【生年月日】昭和 50(1975)年 2 月 13 日  
【本学就任】令和 4(2022)年 4 月 1 日  
【略歴】文教大学人間科学部卒業

埼玉大学大学院教育学研究科修士課程修了  
一橋大学大学院社会学研究科博士前期課程修了  
一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得修了

【専門分野】哲学、倫理学、社会学  
【担当科目】哲学、倫理学(倫理学A)、西洋哲学史A・B、ゼミナール I・II、社会学、論理学、現代社会事象、  
西洋思想史、キャリア演習A・B  
【所属学会】日本哲学会、一橋大学哲学・社会思想学会、唯物論研究協会、東京唯物論研究会、  
札幌唯物論研究会  
【研究テーマ】生命倫理、現象学、存在論

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フッサール現象学を理解する際の避けがたい困難さについて」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』40	令和5年3月
著書	共著	『生命の倫理学』	大月書店	令和5年3月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フッサールにとってカントを語ることの意義とは何か—『危機』と関連草稿における「カント批判」を中心に—」	『フッサール研究』6	平成20年3月
著書	共著	『西洋哲学の軌跡』	晃洋書房	平成24年4月
著書	共著	『危機に対峙する思考』	梓出版	平成27年10月
論文	単著	「事物からではなく世界から思考すること—フィンクのカント論に関する一考察」	『唯物論研究年誌』23	平成30年11月

【最近の社会的活動】